「学校における働き方改革　取組の重点項目と主な取組内容」（アクションシート・学校版）　記入例はこちら

学校名　富士見支援学校旭分校

（※1）【主な取組内容の詳細】を確認
取り組みの詳細（※1）から確認

（※2）【取組の重点項目「独自①・独自②」】を記入
年度始めに
①取組主体ごとの独自の取組を記入する（任意）
②各重点項目の取組で、独自の取組が3つ以上ある場合は、「6. 各取組主体のその他の独自取組」の「独自①」～「独自⑩」に内容を記入し、年度末に評価する

（※3）【年度ごとの取組項目】を決定
年度始めに
「○」：本年度取り組む項目
「－」：本年度は取り組まない項目
※取り組まない理由を【年度ごとの達成状況】の【分析】の欄に記入

（※4）【年度ごとの達成状況】を記入
年度末に
《評価の欄》 A：達成できた　B：ある程度達成できた　C：あまり達成できなかった　D：達成できなかった
※「年度ごとの取組項目」が「－」の場合は「－」を選択
《分析の欄》 評価が「C」または「D」の場合、その要因等、分析結果を記入
※「取り組みの重点項目1」の④については、評価にかかわらず「きずなの日」の実施回数を記入

取組の重点項目 1 【勤務時間管理の徹底及び適切な勤務時間の設定】

取り組みの詳細（※1）

	年度ごとの取組項目（※3）				年度ごとの達成状況（※4）							
					令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度	
	R3	R4	R5	R6	評価	分析	評価	分析	評価	分析	評価	分析
①勤務時間管理の徹底	○	○			A	時間外勤務時間は平均23時間であり、管理が徹底された。						
②効果的な勤務時間の割り振り	－	－			－	時差出勤等の勤務時間の割り振りの導入には、小規模校の実態を考慮した検討を要するため。		時差出勤等の勤務時間の割り振りの導入には、小規模校の実態を考慮した検討を要するため。				
③学校閉庁日の設定	○	○			A	3日間のみ設定できた。						
④「きずなの日」の着実な推進	○	○			B	実施回数 24 回　臨時の会議や保護者対応が入る場合があった。		実施回数 回		実施回数 回		実施回数 回
⑤定時退校日及び退校時間の設定	○	○			B	概ね実施できたが、やむを得ず残留する職員もいた。						
⑥1年単位の変形労働時間制についての検討	－	－			－	制度の運用について、今後検討を要するため。		制度の運用について、今後検討を要するため。				
独自①（※2） 時間外勤務について振替を行う。	○	○			B	振替の仕組みができたことは良かったが、振替しきれなかった職員もいた。						
独自②（※2） 学校閉庁日を増やす。		○										

取組の重点項目 2 【勤務時間・健康管理を意識した働き方の徹底】

取り組みの詳細（※1）

	年度ごとの取組項目				年度ごとの達成状況							
					令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度	
	R3	R4	R5	R6	評価	分析	評価	分析	評価	分析	評価	分析
①管理職のマネジメント力の向上・リーダーシップの発揮	○	○			A	リーダーシップを持ち取り組むことができた。						
②一人ひとりの教職員による働き方の見直し・意識改革	○	○			B	かなり進んだが、更なる改善が必要である。						
③教職員の健康サポート・教職員の健康管理の推進	○	○			A	健康づくりに全職員で取り組んだ。						
独自①（※2） 職場レクリエーションを実施する。	○	○			B	コロナ禍のため十分実施できなかった。						
独自②（※2）												

取組の重点項目 3 【校務の精選・効率化・明確化】

取り組みの詳細（※1）

	年度ごとの取組項目				年度ごとの達成状況							
					令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度	
	R3	R4	R5	R6	評価	分析	評価	分析	評価	分析	評価	分析
①業務の役割分担の見直しと適正化	○	○			A	小規模校であり、職員に役割を兼ねてお願いした。						
②各学校の実情を踏まえた行事・会議等の見直しと、「アクションシート」の作成と検証	○	○			A	アクションシートを作成し、活用した。						
③ICT等を活用した業務改善の支援	○	○			A	Teamsの活用が進んだ。						
④外部人材の確保・活用	○	○			A	ICT支援員を活用した。						
⑤会計業務の管理に係る検討	－	－			－	分校の状況を考慮した検討を行っていかなければならないため。		分校の状況を考慮した検討を行っていかなければならないため。				
⑥若手教員のサポート	○	○			B	話し合いがうまくできるよう工夫したが、サポートを今後も進めていきたい。						
⑦事務職員と教員の連携・協働の推進	○	○			B	更なる連携を工夫していく。						
独自①（※2）												
独自②（※2）												

取組の重点項目 4 【PTA・地域・関係諸団体との連携】

取り組みの詳細（※1）

	年度ごとの取組項目				年度ごとの達成状況							
					令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度	
	R3	R4	R5	R6	評価	分析	評価	分析	評価	分析	評価	分析
① PTA・保護者・地域の理解を求める取組の実施	○	○			B	更なる連携が必要である。						
独自①（※2） 「親子教師のつどい」を実施する。	○	○			A	2回実施できた。						
独自②（※2）												

取組の重点項目 5 【部活動運営の適正化・部活動指導の負担軽減】

取り組みの詳細（※1）

	年度ごとの取組項目				年度ごとの達成状況							
					令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度	
	R3	R4	R5	R6	評価	分析	評価	分析	評価	分析	評価	分析
①部活動ガイドラインの遵守	－	－				部活動は実施していないため。		部活動は実施していないため。				
②部活動指導員等外部人材の活用	－	－				部活動は実施していないため。		部活動は実施していないため。				
③休日の部活動の段階的な地域移行（中学校）	－	－				部活動は実施していないため。		部活動は実施していないため。				
独自①（※2）												
独自②（※2）												